

広範な抗菌スペクトラムを有する殺菌剤

**ベニコート**<sup>®</sup>  
**水和剤**

**多くの病害に対して  
優れた予防効果。**



**適用作物が多く使用しやすい。  
従来の薬剤と異なる作用性を有するため、  
各種薬剤耐性菌に対しても有効。**



〔広範な抗菌スペクトラムを有する殺菌剤〕

ベルコート®  
水和剤

農林水産省登録 第18821号

有効成分:イミノクタジナルベシル酸塩…40.0%

殺菌剤分類 M7

人畜毒性:普通物

(毒劇物に該当しないものを指している通称)

## ■適用病害と使用方法

\*印は収穫物への残留回避のため、その日まで使用できる収穫前の日数と、本剤及びイミノクタジンを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (ℓ/10a)	使用時期*	総使用回数*		使用方法			
					本剤	イミノクタジン				
りんご	黒星病、斑点落葉病	1,000～2,000	200～700	前日	6回 (開花期以降) 散布は3回	8回 (液剤及び水和剤は合計 6回(開花期以降は3回)) 塗布剤は2回	散布			
	輪紋病、褐斑病、すす点病、すす斑病 黒点病、うどんこ病	1,000～1,500								
	黄腐病、モモリア病	1,000								
	なし	黒斑病、黒星病、輪紋病、うどんこ病						1,000～1,500		
もも	黒星病	2,000		前日	3回	3回 (休眠期は1回)				
	灰星病、ホモプシ腐敗病、うどんこ病 すすかび病、果実赤点病	1,000～2,000								
おうとう みかん	灰星病	1,000		7日	2回	3回				
	灰色かび病、そうか病	1,000～2,000								
かんきつ (みかんを除く)	貯蔵病害(緑かび病、青かび病)	2,000		前日	3回	2回				
	あけび(果実)	うどんこ病						3,000		
かき	炭疽病、落葉病、うどんこ病 灰色かび病、すす点病、黒星病	1,000～1,500	14日	3回	3回					
	果実軟腐病、灰色かび病 貯蔵病害(灰色かび病)	1,000	前日	5回	5回					
マンゴー	炭疽病		14日	2回	2回					
小粒核果類 (うめ、すももを除く)	黒星病、灰星病、灰色かび病、すす斑病 環紋葉枯病	2,000	30日	3回	3回					
	うめ	黒星病、灰星病、灰色かび病 すす斑病、環紋葉枯病、枝枯病								
すもも	灰星病	1,000～2,000				3日	4回	4回		
びわ	灰斑病、灰色かび病	1,000				7日				
キャベツ	菌核病		4	14日	4回	4回				
	すいか	うどんこ病、つる枯病、菌核病、炭疽病	1,000	前日						
メロ	うどんこ病、つる枯病		100～300	7日	4回	4回				
かぼちや	うどんこ病	1,000～2,000		前日	7回	7回				
ズッキーニ	褐斑病	2,000			3日	5回	5回			
きゅうり	うどんこ病、灰色かび病、炭疽病	2,000～4,000		前日	3回	3回				
うり類(漬物用)	うどんこ病、つる枯病、炭疽病		7日	5回	5回					
なす	すすかび病、灰色かび病、うどんこ病	3,000	100～500	前日	5回	5回				
アスパラガス	茎枯病、斑点病、褐斑病	1,000		30日	3回	3回				
たまねぎ	灰色かび病、灰色腐敗病、小菌核病	2,000	100～300	3日	3回	3回				
ねぎ	葉枯病	1,000～1,500		14日	5回	5回				
にんにく	菌核病	1,000	乾燥種子重量の0.5%	は種前	1回	5回 (種子粉衣は1回 無人航空機散布は2回)				
	にんじん	黒葉枯病					500～1,000			
トマト	葉かび病、灰色かび病	3,000～6,000					100～300	育苗期(定植前) 前日(生育期)	5回	10回 (育苗期は5回、本圃では5回)
	ミニトマト									
レタス	灰色かび病、菌核病	1,000～2,000	7日	5回	5回					
いちご	炭疽病、うどんこ病	1,000	7日	5回	5回					
豆類(種実、たけい、だいずを除く)	うどんこ病	4,000	7日	5回	5回					
	ばれいしょ	夏疫病				500				
やまのいも	葉疫病	1,000～2,000	種いも重量の1%	植付前	1回	5回 (種いもへの処理は1回 無人航空機散布は3回)				
	青かび病	—								
茶	炭疽病、輪斑病、新梢枯死症(輪斑病菌による)	1,000	200～400	(摘採) 7日	2回	2回				
たばこ	赤星病、うどんこ病、灰色かび病	1,000～2,000	100～180	10日	3回	3回				
樹木類	炭疽病	1,000	200～700	発病初期	3回	3回				

## ⚠ 効果・薬害等の注意

- イミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
- なしに使用する場合、西洋なし品種ル レクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
- ももに使用する場合、缶桃14号等の缶詰用品種では葉に葉斑を生じるので使用しないでください。
- おうとうに使用する場合、着色始期から中期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので、使用しないでください。
- かきに使用する場合、西村早生では葉に葉斑を生じるので、使用しないでください。
- メロンに使用する場合、交配2～3日前から交配2週間後までの効果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。また若果への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると、薬害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認してください。
- ばれいしょに対して薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。



- 薬に対して毒性があるので、薬にかからないように注意して散布してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を遵守してください。
  - ①散布機種の散布基準に従って行ってください。
  - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
  - ③散布中に薬液の漏洩がないよう事前に機体の散布配管その他の十分な点検を行ってください。
  - ④散布薬液の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 使用方法などを厳守してください。特に初めて使用する場合は、病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、速やかに使いきってください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用してください。なお、病害虫防除等関係機関の指導を受けるようにしてください。

## ⚠ 安全使用上の注意

- 誤飲・誤食などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合に

- は吐き出させ、直ちに医師の指導を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の指導を受けてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の指導を受けてください。
- 使用の際は、保護メガネ、農業用マスク、不浸透性手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は、手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。
- 水産動植物への影響:水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。使用残りの薬液が生じないよう調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管:密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

\*本資料は2025年12月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。

